

令和6年度
第4回 台東区区政サポーター
アンケート調査 報告書

「台東区のバリアフリーについて」

「生活安全について」

「区政サポーターについて」

台東区 総務部 広報課

令和6年度 第4回 台東区区政サポーターアンケート

区政サポーターとは

資 格：公募による区内在住の中学生以上の方

活動内容：区政に関するアンケートを郵便または電子メールで回答する。

任 期：2年（令和5年4月1日～令和7年3月31日）

目 的

区政サポーターの方に区の課題となっている「施策や事業に関するアンケート」に回答していただくことによって、区政への参加を図ります。また、アンケート結果は区民の貴重なご意見として、今後の区政運営の資料といたします。

内 容

- (1) 台東区のバリアフリーについて
- (2) 生活安全について
- (3) 区政サポーターについて

調査概要

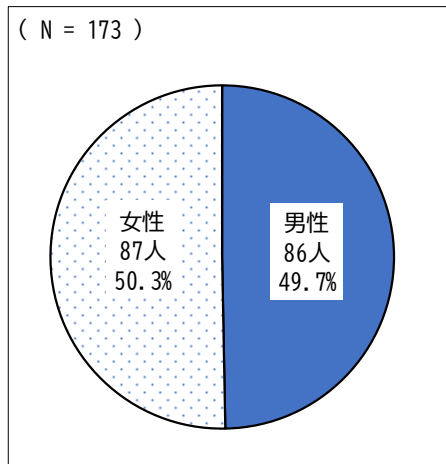
調査期間 令和6年12月11日（水）～12月24日（火）

対 象 区政サポーター200名（郵便によるサポーター62名、Eメールサポーター138名）

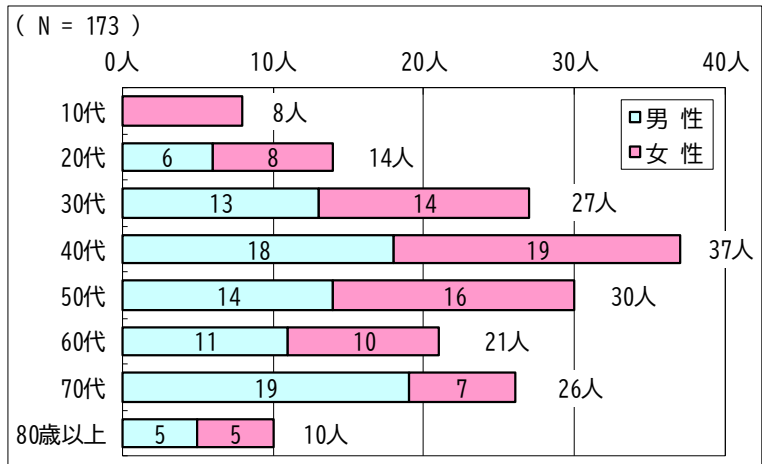
有効回収数 173名（郵便58名、Eメール115名） 有効回収率86.5%

回答者の属性

性別



年代別



地区別（区民事務所・分室・地区センター）

地 区	竹町	東上野	上野	入谷	金杉	谷中
男 性	3人	6人	5人	15人	9人	3人
女 性	3人	1人	4人	11人	9人	6人
計	6人	7人	9人	26人	18人	9人
地 区	浅草橋	浅草寿	雷門	馬道	清川	合計
男 性	10人	11人	6人	10人	8人	86人
女 性	8人	10人	10人	12人	13人	87人
計	18人	21人	16人	22人	21人	173人

職業別

職 業	自営業・ 個人事業主等	会社員・ 公務員等	主婦(夫)	学生	無職	その他	合計
人 数	25人	67人	27人	17人	25人	12人	173人

目 次

I 調査結果の分析

「台東区のバリアフリーについて」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

「生活安全について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

「区政サポーターについて」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

II アンケート質問と回答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

報告書の表記について

- (1) 回答の構成比率(%)はすべて百分比で表し、小数点第2位を四捨五入しています。そのため、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがあります。
- (2) 基数となるべき実数は、Nで表しています。
Nは、回答者総数または該当設問の該当者数です。
- (3) 複数回答の設問は、各選択肢を1つだけでなく、2つ以上選択するため、各選択肢の合計数字が100%を超える場合があります。
- (4) 自由意見は、文字制限がある為、要約して掲載する場合があります。

※この報告書は、区のホームページ <https://www.city.taito.lg.jp/>に掲載しています。
(トップページ>区民の声>台東区区政サポーター)

I 調査結果の分析

【台東区のバリアフリーについて】

今回の調査では、区内のバリアフリー化の状況や令和6年11月に公開したバリアフリーマップについて伺いました。

その結果、鉄道駅や道路などのバリアフリー化を進めることが重要との回答や、心のバリアフリーの実現には、学校での教育や広報・啓発活動が求められているという回答がありました。

また、バリアフリーマップについては、認知度が2割未満であることから、認知度向上に向けた取り組みや、バリアフリールート of 検索機能、マップの視認性や動作性の向上が必要であることがわかりました。

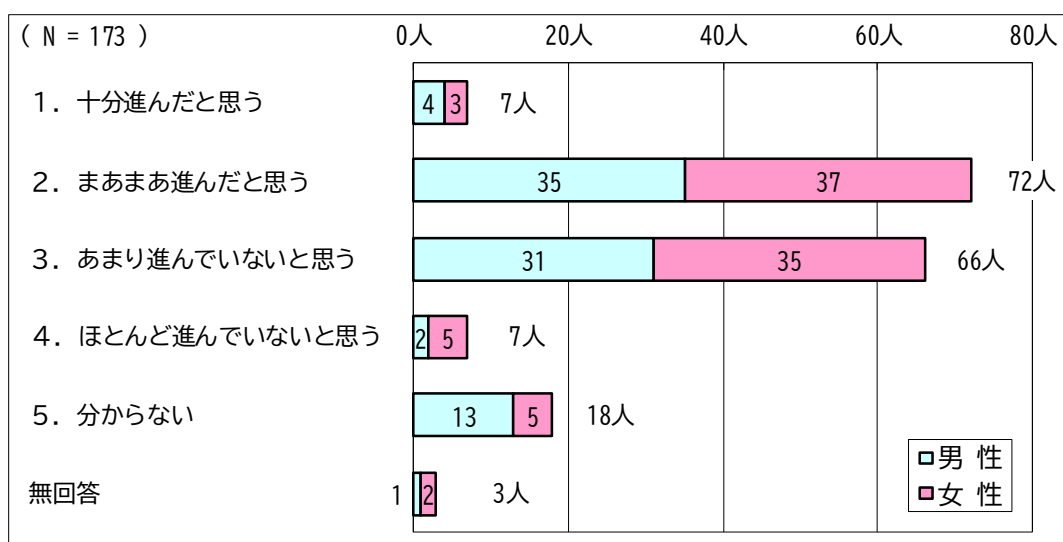
今回いただいたご意見を参考に、すべての人々が安心して生活・移動できるまちの実現に向けて、バリアフリー化を推進してまいります。

(都市づくり部 都市計画課)

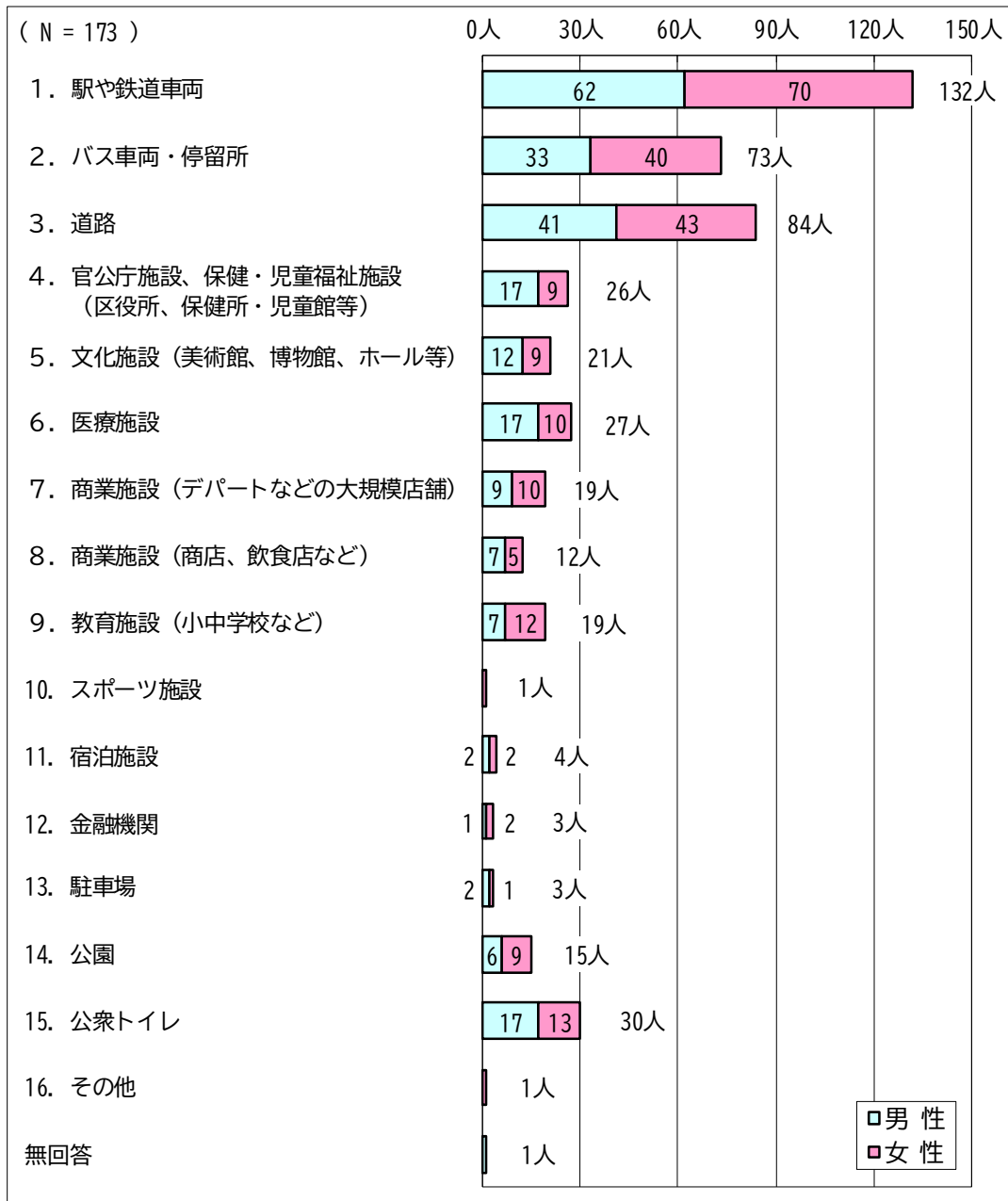
設問1：日常生活を送るうえで、バリアフリーやユニバーサルデザイン(※)が進んだと思いますか。

(※) ユニバーサルデザイン

「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障害の有無などにかかわらず、多様な人々が利用しやすいように都市や生活環境をデザインする考え。



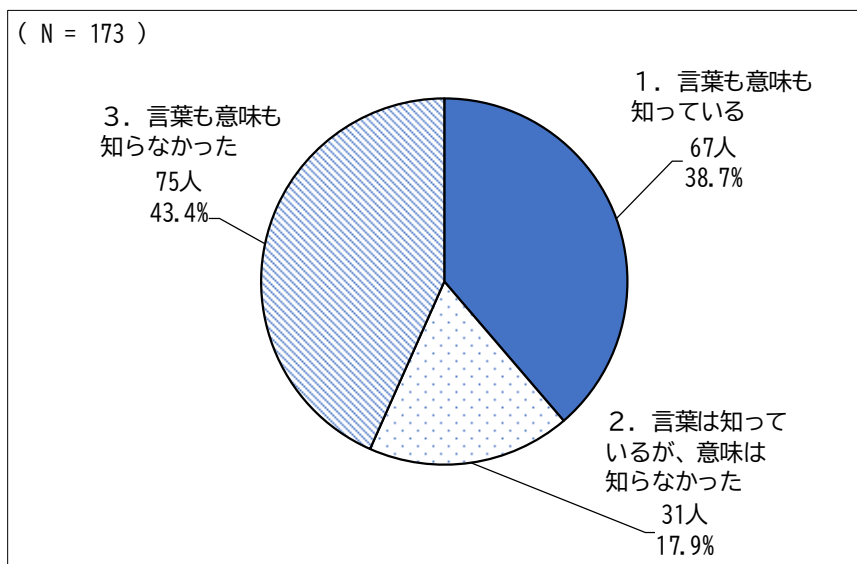
設問2：今後、区内のバリアフリー化を進めるうえで、どのような施設のバリアフリー化が重要だと思いますか。（3つまで複数回答可）



設問3：「心のバリアフリー（※）」について、知っていますか。

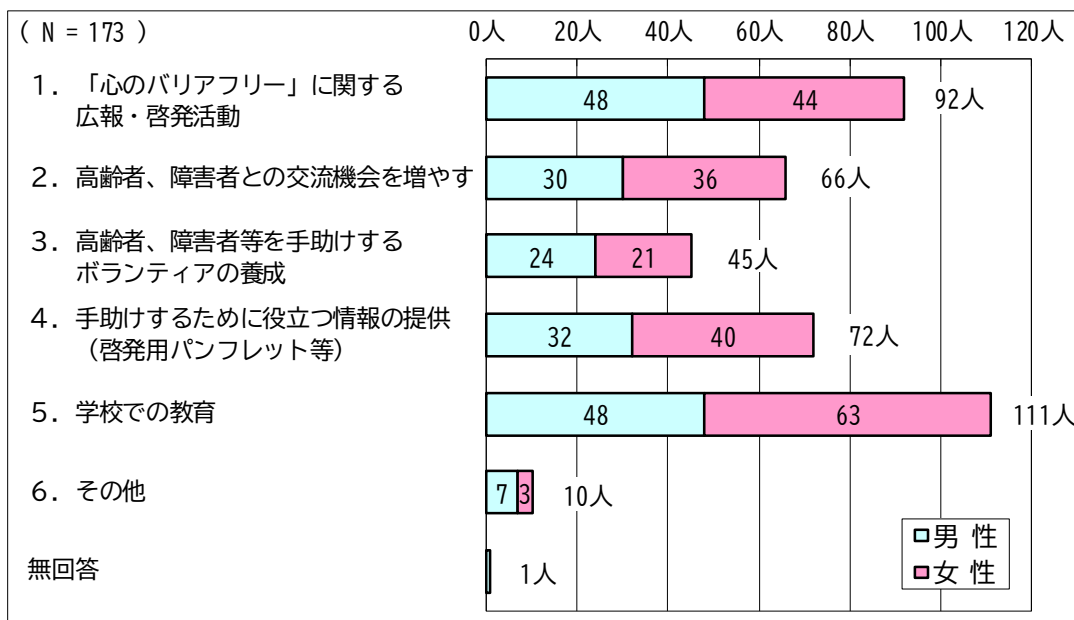
（※）心のバリアフリー

幼児から高齢者まで、障害のある人もない人も、すべての人が互いに助け合い、思いやりの心をもって相手に接すること。



設問4：「心のバリアフリー」の実現に向けて、何が求められると思いますか。

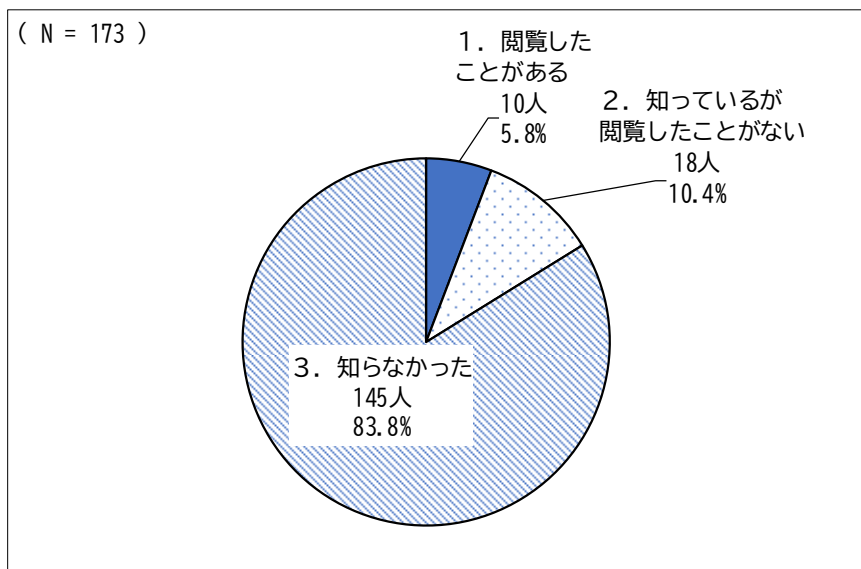
（複数回答可）



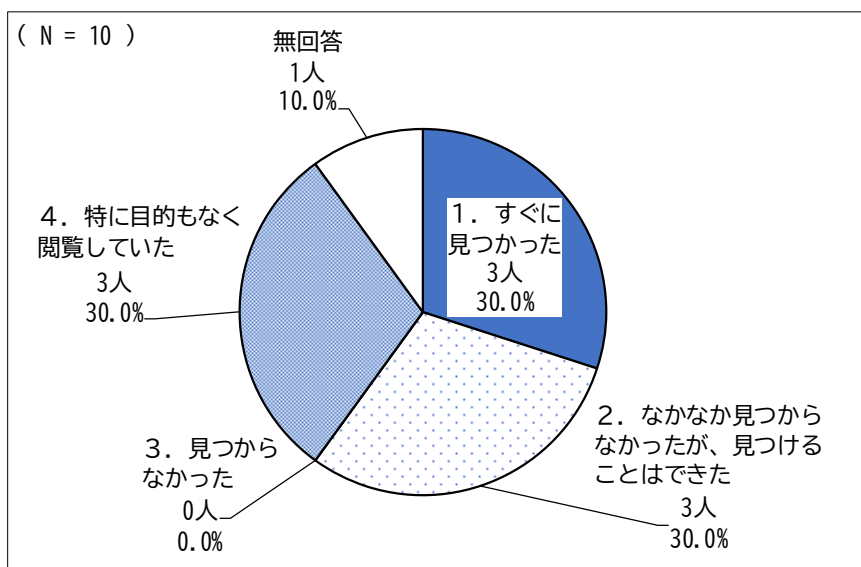
設問5：令和6年11月1日から、新機能を加えた「バリアフリーマップ（※）」を区公式ホームページにて公開していますが、閲覧したことはありますか。

（※）バリアフリーマップ

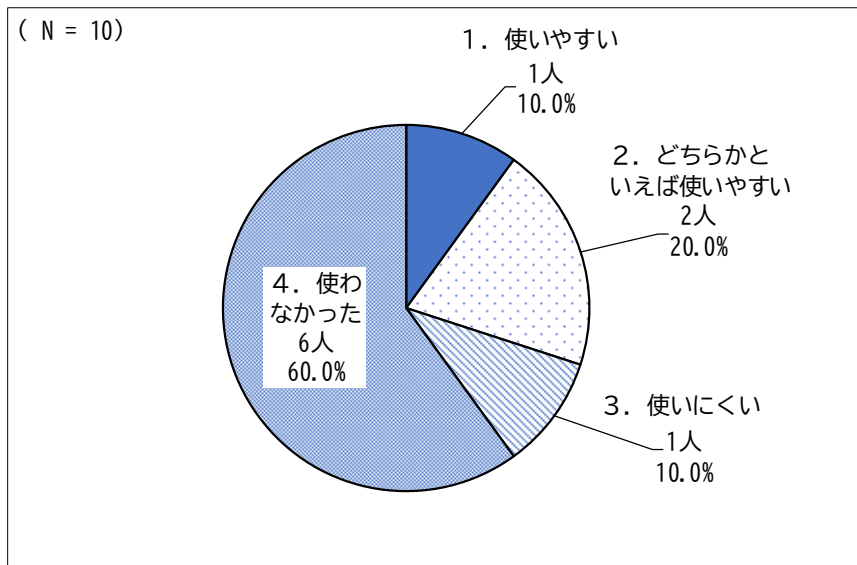
区内のトイレやエレベーターの情報、徒歩経路の検索機能、車椅子利用者が投稿した車椅子の走行ログなどを掲載しているマップ。



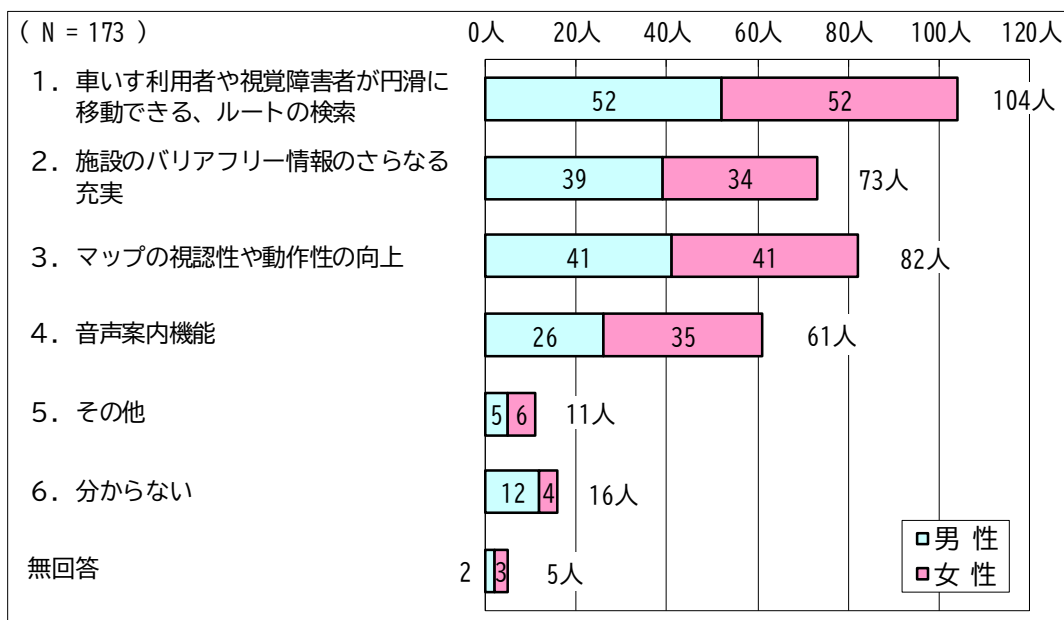
設問6：設問5で選択肢1「閲覧したことがある」を選択した方にお伺いします。探していた情報は見つかりましたか。



設問7：設問5で選択肢1「閲覧したことがある」を選択した方にお伺いします。
 バリアフリーマップでは、徒歩経路の検索機能をご利用いただけますが、この機能は使いやすかったですか。



設問8：「バリアフリーマップ」に今後必要な機能は何だと思えますか。実際にご利用いただいたうえで、ご回答ください。(複数回答可)



設問9：バリアフリーについて、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・街中では物理的なバリアに困っている人に対して区民がいろいろな手助けをしているように思う。外へ出て来られない人への対策が必要なのではないかと思う。
- ・障害のある方が住みやすいまちは、障害がない人にとっても住みやすいものだ。お互いの理解を深めることが最重要と考える。
- ・バリアフリーを進めることでベビーカーも生活しやすくなるので、ぜひ進めてほしい。
- ・観光地としての浅草、上野、アメ横は居住者数も多い。居住者の利便性を第一に考えてほしい。
- ・バリアフリーマップについて今回初めて知った。良い取り組みだと思う。インターネットだけでなく、災害時に役立つような簡易的なアナログマップがあると便利だと思う。
- ・私自身は困ったことがないのでバリアフリーを意識したことがなかったが、駅など皆が利用することの多い施設のバリアフリーは充実させるべきだと思う。
- ・心のバリアフリーという言葉を知った。環境を整えても人々の意識が変わらないと優しい世の中にならないのだと思った。学校などでも啓発活動を進めてほしいと思う。
- ・今回自身が怪我したことにより、バリアフリー化が進んでいないこと、インバウンドにより認識不足もあり、いろいろなバリアフリー問題を、身をもって感じた。路上駐車等も非常に歩く時も大変だと感じた。
- ・「心のバリアフリー」という言葉の意味は知っているが、結局「思いやり」に帰結させる考え方で賛同できない。思いやりは属人的で、その人次第であり、その人の状況次第で変わってしまう。環境整備と啓発と両輪で行なっていくときに、もっと実用面や合理性の面を打ち出してもらいたいと思う。
- ・車椅子ではないが、過去にベビーカーを引いている時に移動に困る場面があった。高齢者、障害者に限らず、バリアフリーを希望している人がいると思うので、これからも積極的に対策を続けてほしい。
- ・今後はバリアフリーを妨げないための施策も必要だと感じる。例えば、銀行やスーパーに駐輪スペースが無いと、路上に駐輪され、歩道が狭くなり危ないこともある。

- ・ 公共施設のバリアフリーは進んでいると思うが、そこに至るまでの道路に段差が多く、問題があると思う。道路が無理だと施設利用のハードルも上がると考える。
- ・ 小さい商業施設ほどバリアフリーになっていない気がするが、新規に開店するお店にはバリアフリー化を進めてほしい。また、大手が経営するファミレスなど階段で2階に上がらなければ入れない店を多く見かけるが、改善してもらいたい。
- ・ 歩道上の看板撤去の徹底。警察（法律の執行機関）と協力してぜひ実施してほしい。
- ・ 高齢の人の中にはスマホなどを使うことができなく、バリアフリーを作ってもらってもどこにあるかわからない。そこで、区役所の中に印刷したものを置いていただき、高齢の人たちに配布していただきたい。
- ・ 駅のエレベーターを増やしてほしい。エレベーターやエスカレーターをピクトグラムなどでたくさん表示してほしい。
- ・ 高齢者、障害者が多くなっており、駅のエレベーターはバギーを持った若い方が利用したくても使用できない姿をよく見かける。もっと数を増やさないとならないのかなとも感じる。いろいろな人が不自由なく行動できるように、バリアフリーは大事な時代になった。
- ・ 公共交通を使いたくても混雑で使えないと聞く。利用しやすい時間帯等も知らせてあげたら良いと思う。
- ・ バリアフリー、ユニバーサルデザインという言葉はよく聞くが、浸透するには時間がかかると思う。
- ・ 台東区は高齢者が多い区なので、もっと乗り物に手すりなど充実してほしい。
- ・ 高齢者、障害者と同居していない方々にとっては、その専門職以外であれば、高齢者、障害者と具体的にどのように触れあい、助けたら良いかわからないと思う。「きれいごと」で考えられることではないのではないか。

【生活安全について】

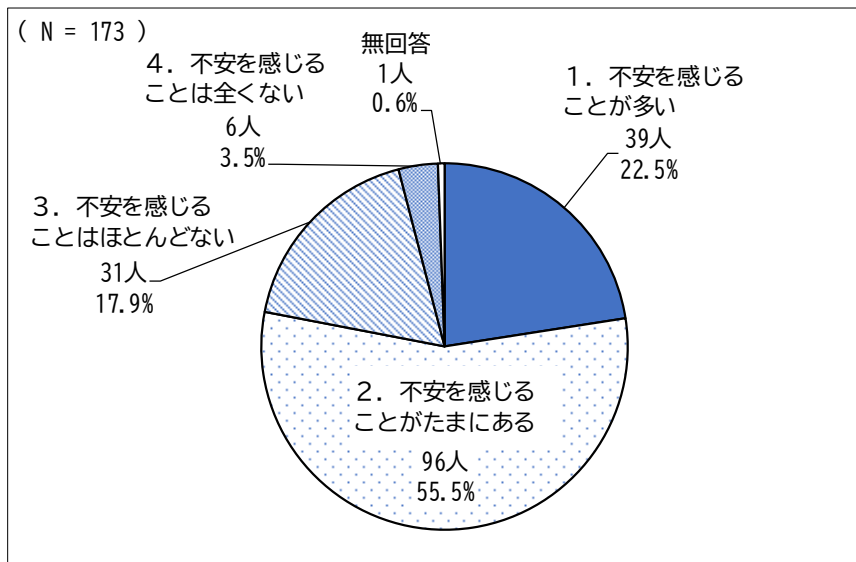
今回の調査では約8割の方が犯罪被害に遭うのではないかと不安を感じ、8割以上の方が防犯対策をしており、犯罪への不安、防犯への関心が高い結果となりました。

区が力を入れるべき取り組みとして「防犯カメラ等の設備助成」、「不審者や犯罪に関する情報の提供」の順に多くの回答がありました。

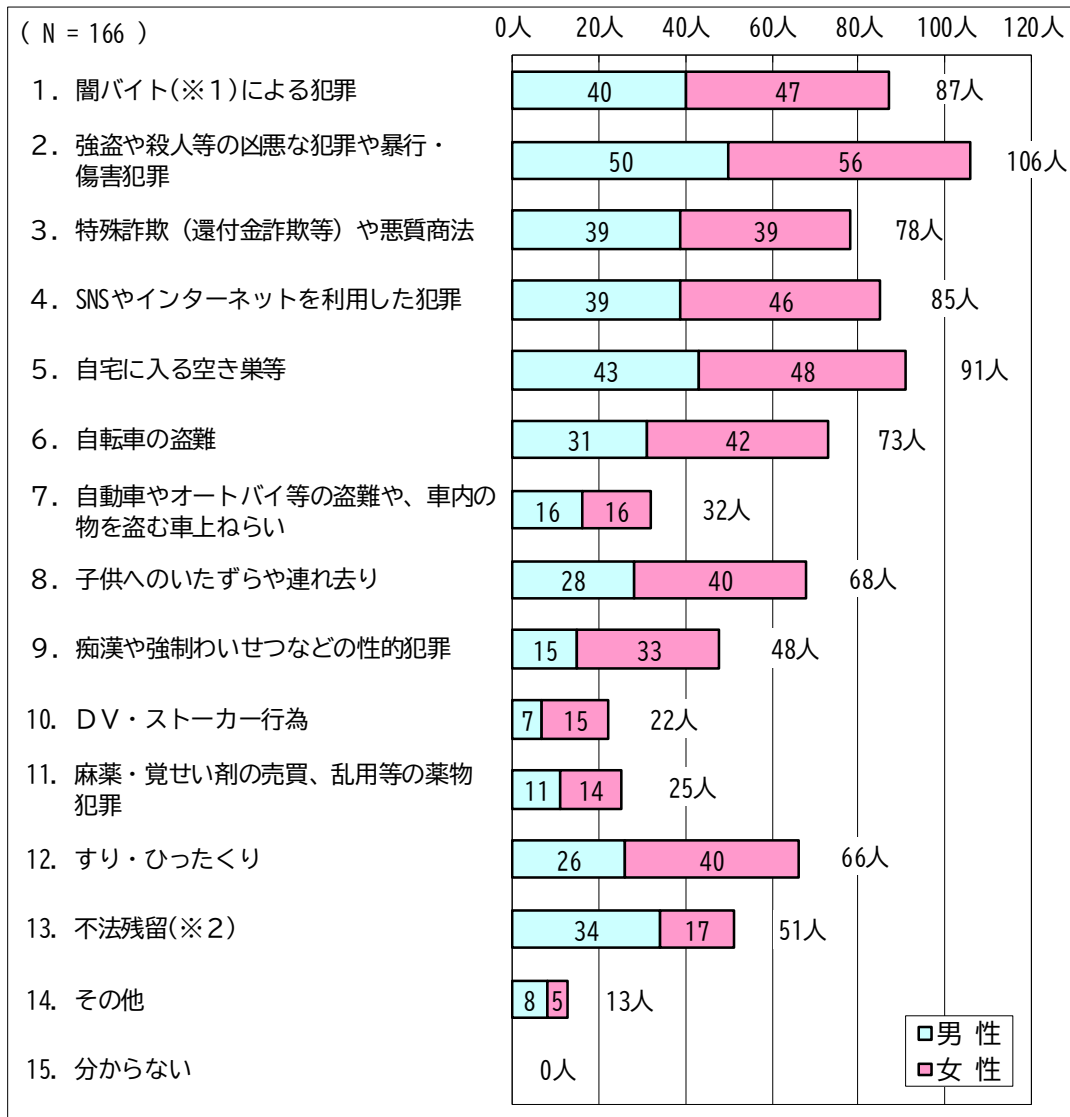
地域での有効な取り組みの結果等も含め、今回いただいたご意見を今後の防犯対策の参考とし、区民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。

(危機管理室 生活安全推進課)

設問10: 日常生活で犯罪の被害に遭うのではないかと不安を感じることはありますか。



設問11：設問10で選択肢1～3を選択した方にお伺いします。
 どのような犯罪に不安を感じていますか。（複数回答可）



(※1) 闇バイト

犯罪行為をすることによって報酬を受け取るアルバイト。

(※2) 不法残留

在留資格が無いにも関わらず、国内に滞在し続ける行為。

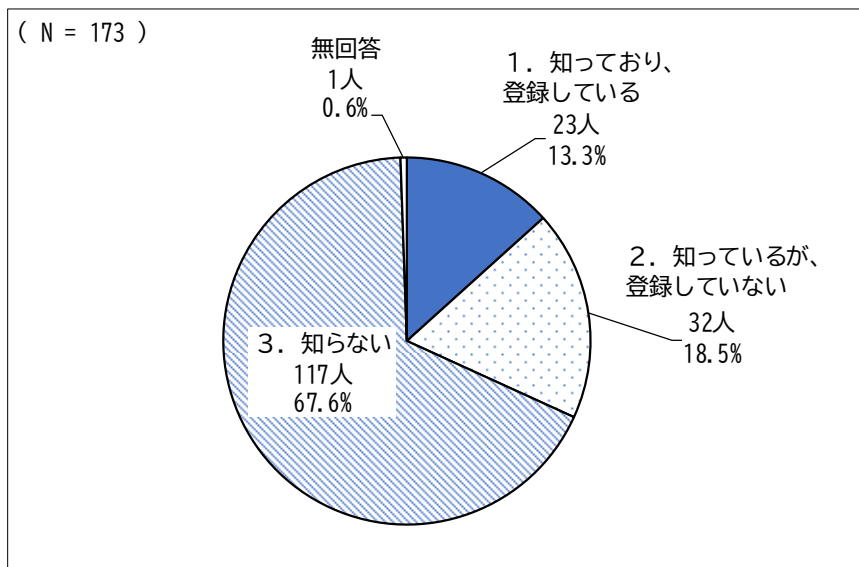
設問12：区内警察署による「メールけいしちょう（※1）」や、警視庁による「デジポリス（※2）」を知っていますか。

（※1）メールけいしちょう

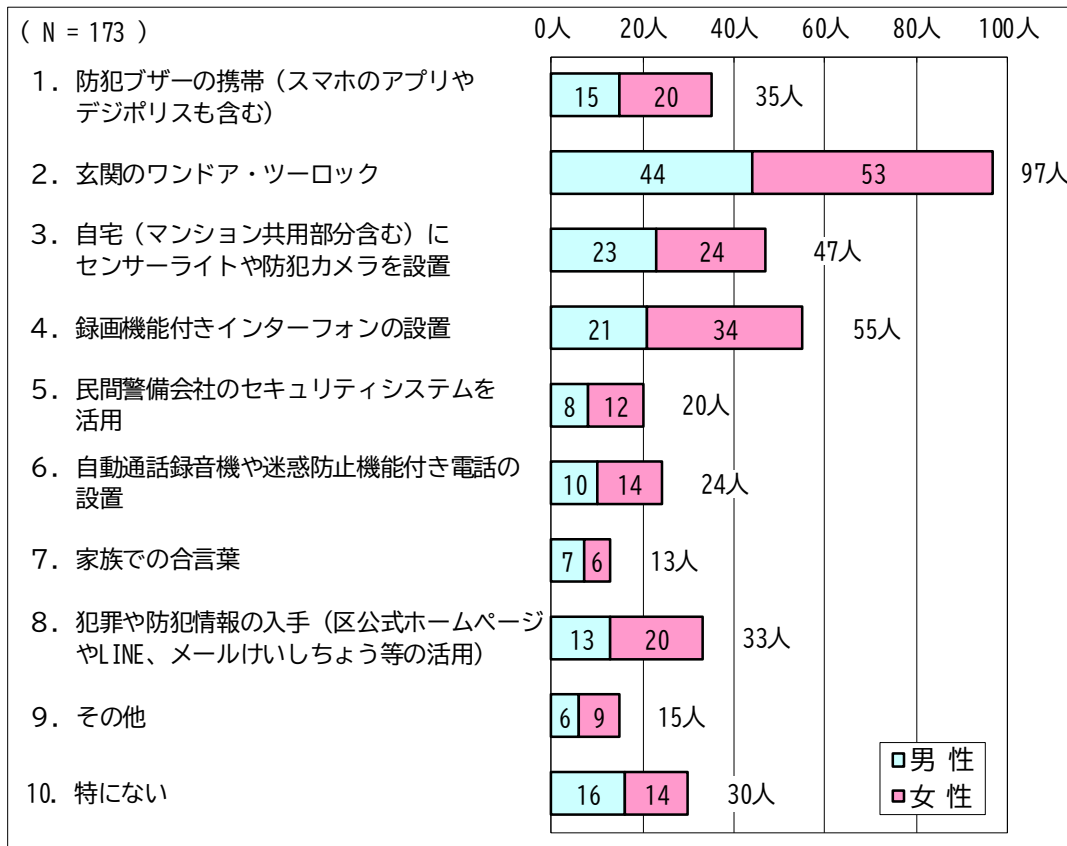
警視庁から配信される、各地域で発生した「犯罪発生情報」や犯罪を防ぐために必要な「防犯情報」等のメール。

（※2）デジポリス

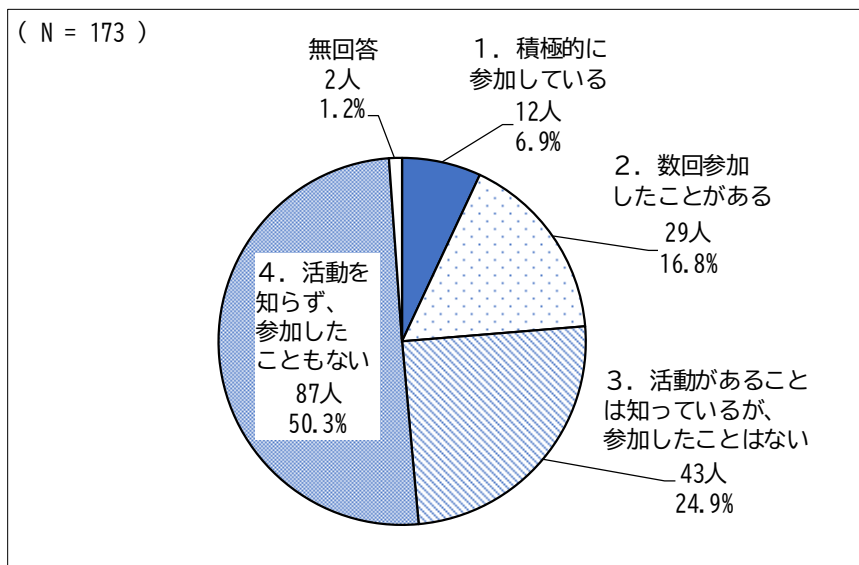
警視庁が都内の犯罪発生状況や防犯情報をお届けするほか、防犯ブザー・痴漢撃退機能を有する防犯アプリ。



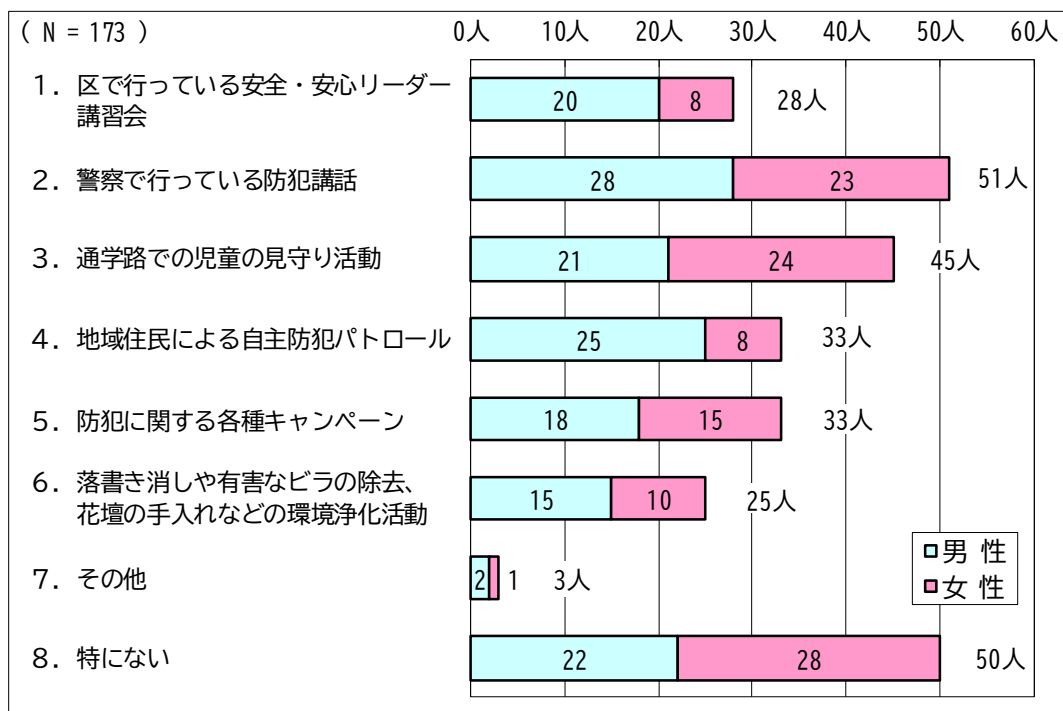
設問13：普段から、あなたや家族が犯罪に遭わないように行っている防犯対策はありますか。（複数回答可）



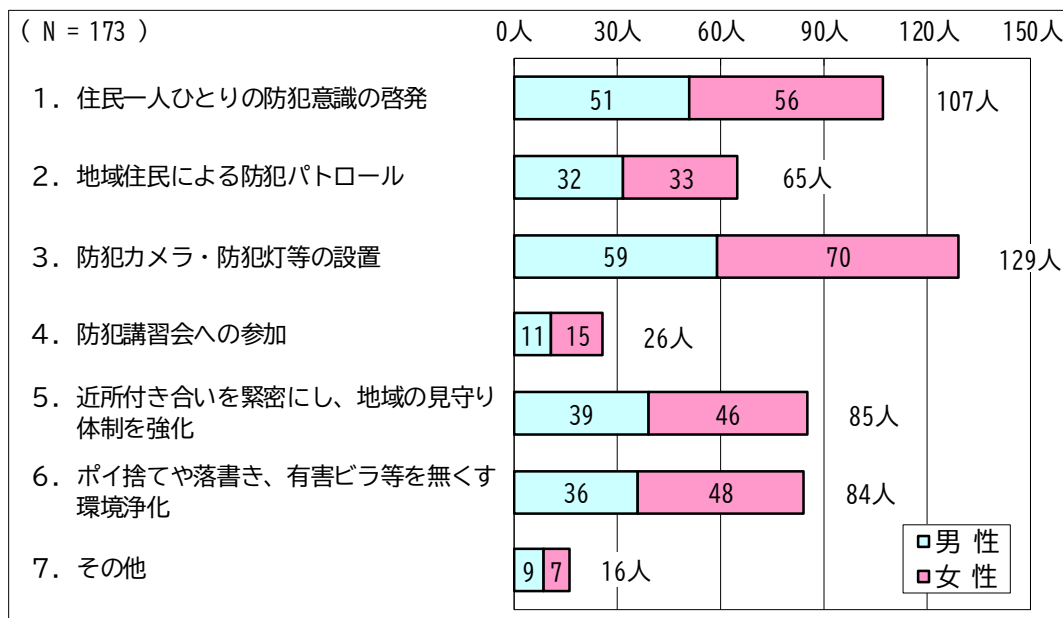
設問14：町会など地域で行っている防犯活動に参加したことがありますか。



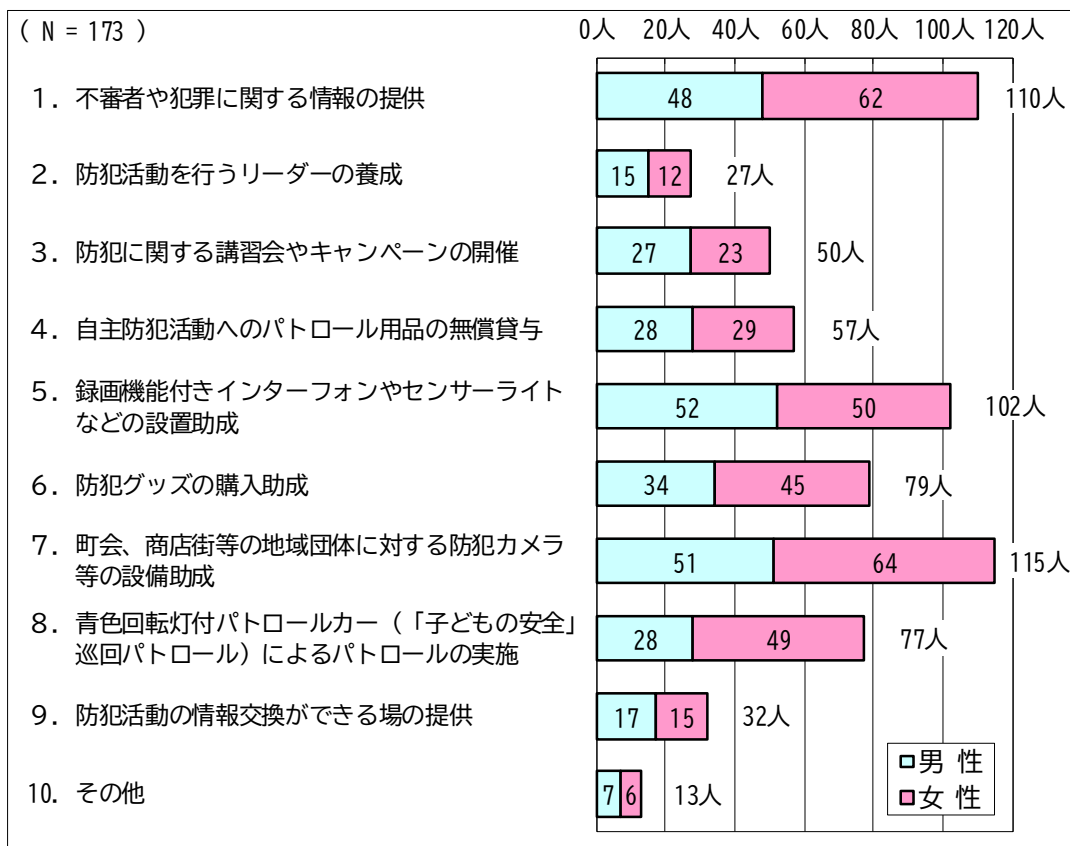
設問15：参加したい防犯活動はありますか。(複数回答可)



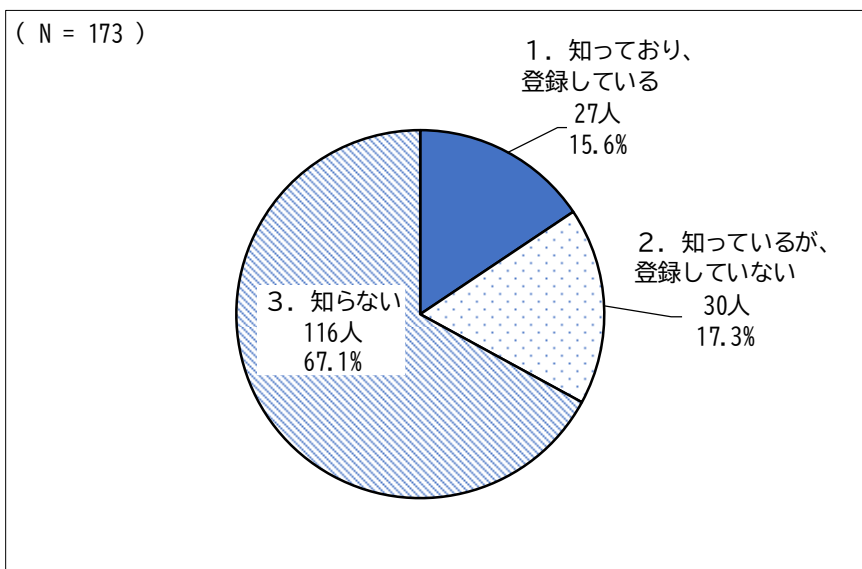
設問16：犯罪の起こりにくい、安全・安心なまちにするためには、地域でどのような取り組みが有効だと思いますか。(複数回答可)



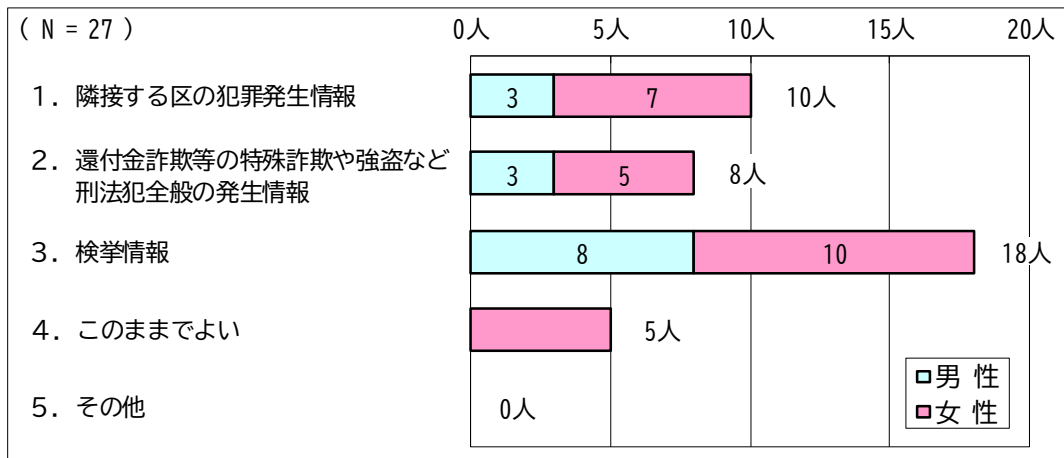
設問17： 犯罪の起こりにくい、安全・安心なまちにするために、区がどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答可）



設問18： 子供に関する犯罪情報等をメールでお知らせする「たいとう安全・安心電子飛脚便」というサービスを知っていますか。



設問19: 設問18で選択肢1「知っており、登録している」を選択した方にお伺いします。
「たいとう安全・安心電子飛脚便」は子供の安全確保を主体に配信していますが、今後どのような情報があれば良いと思いますか。(複数回答可)



設問20：安全で安心な地域づくりに対する取り組みについて、ご意見等がありましたらご記入ください。

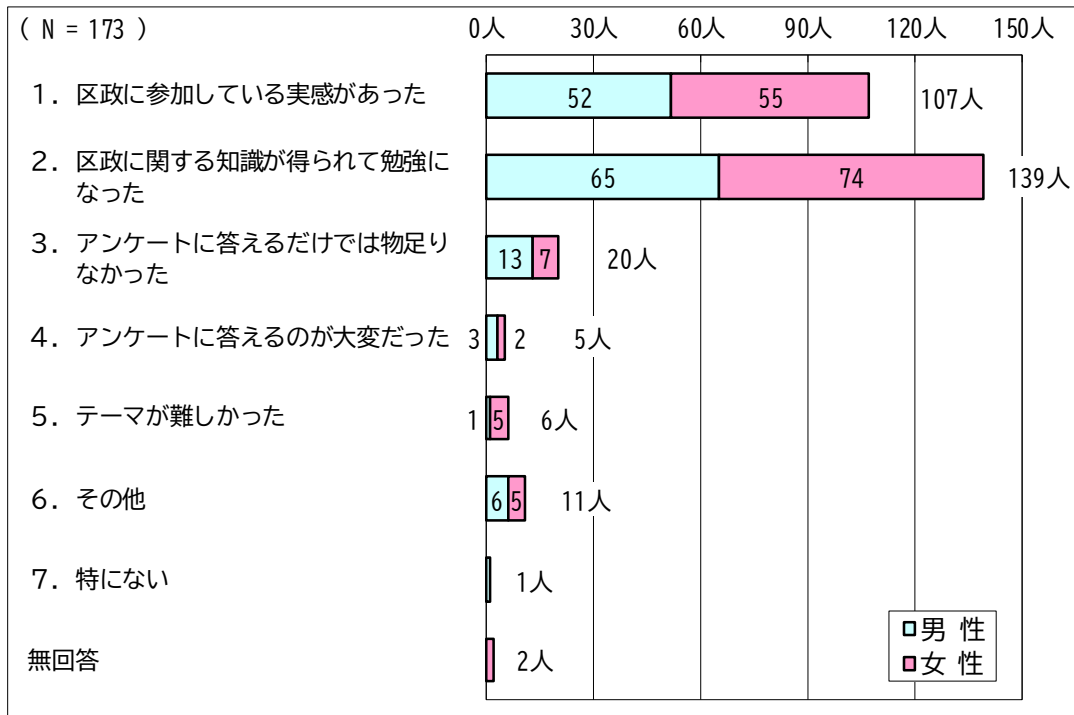
(主なご意見)

- ・ 駅や街中での警察の見回りを増やすとより安心な地域につながると思う。
- ・ 自分ではあまり気が付かないが、防犯カメラはぜひ積極的に設置してもらいたい。
- ・ 汚く暗いまちは犯罪が起こりやすい。明るくキレイなまちづくりに力を入れてほしい。
- ・ 個人宅に設置する防犯カメラの助成を推進してほしい。我が家の周り、死角になっているのを良いことにポイ捨てなどが横行している。公共マナーの欠如はやがて犯罪に発展すると思う。
- ・ 「不審者を見かけたら警察へ通報」と書いたステッカーの無料配布をしてほしい（最寄りの警察の電話番号を記入できる欄もほしい）。
- ・ 防犯カメラの設置を促進して、死角がないようにしてほしい。外国人や短期間だけの賃貸住宅の人が増えることも、不安要素のひとつではないかと思う。
- ・ お年寄りの方も多く住む場所が多いので、街灯を増やしたりパトロールを強化するなど、犯罪抑止が進むと良いと思う
- ・ インバウンドで台東区の治安は悪くなってきていると感じるので、引き続き安心な地域づくりに期待している。
- ・ 迷惑行為などの、犯罪になる前の状態を防ぐ手立てを含めた、取り組みを考慮してほしい。
- ・ 顔見知りを近所に増やすように、積極的に地域の活動に参加しようと思う。
- ・ 犯罪情報の提供を周知し、地域住民自ら警戒対策を促すと良いと思う。
- ・ 防犯カメラは犯罪の抑止効果があるので、ぜひ設置を進めてほしい。
- ・ 空き缶ごみの持ち去りも、もっと取り締まってもらいたい。
- ・ 最近は近所付き合いも難しく、どんな人が住んでいるか分かりにくい。小規模の地域イベントがあれば自然に交流ができると思う。

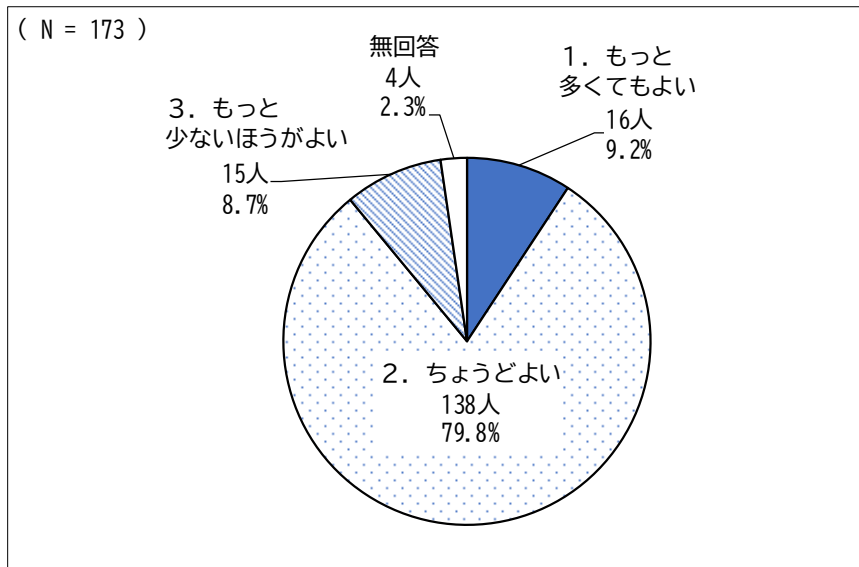
- ・老人向けに防犯情報、対策などの講習会を行うと良いと思う（区民事務所など、それぞれの町会の人が集まりやすい場所で）。
- ・「自分の身は自分が守る」は大原則であるが、犯罪（予定）者はどこにも存在するわけで、各個人の防御にも自ずと限界はある。行政サイドのさらなる広報啓発活動、各種支援の充実こそ必要ではないか。
- ・台東区は転入前のイメージより治安が良く、比較的満足しているので、これが継続するように協力したい。
- ・空き家、高齢者だけの世帯等が増えている今、どうしたら良いかを考えている。近所付き合いも以前とは違うので、挨拶だけでも続けていこうと考える。
- ・子供たちに「このような時は気を付けよう」とか、自分の経験で知ったことを教えたりすることは年長者の役割だと思う。そのようにして、その地域の安全、安心が広がっていくのが理想ではないか。
- ・地区警察署のパトロール強化と防犯カメラを多く設置したら良いと思う。

【区政サポーターについて】

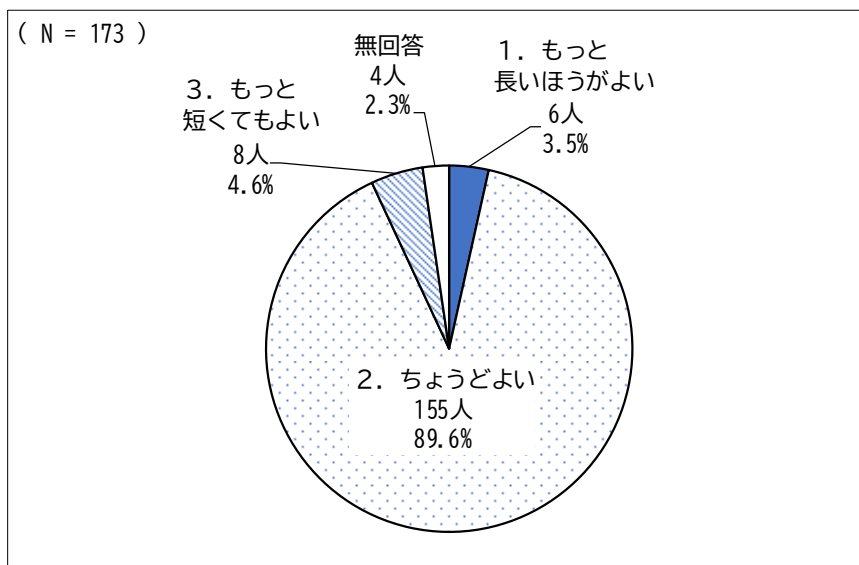
設問21：今回で現在の任期の区政サポーターアンケートは最後となります。
区政サポーターとして活動して、いかがでしたか。（複数回答可）



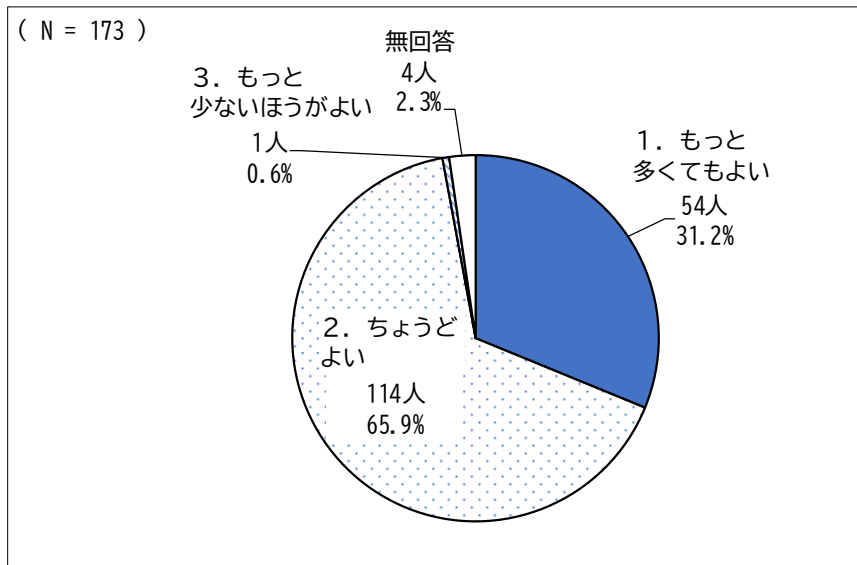
設問22：アンケートの設問は、1回あたり概ね20～30問でした。設問数はいかがでしたか。



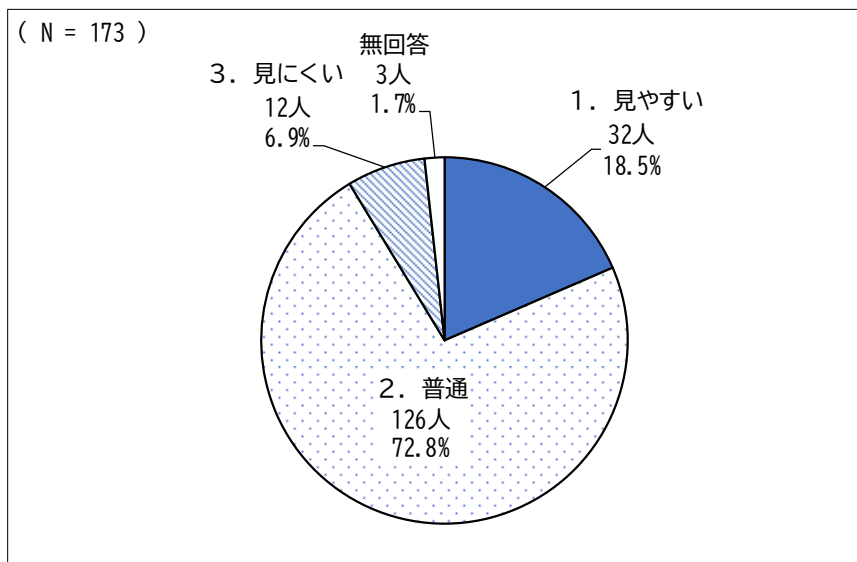
設問23：アンケートの調査期間は、1回あたり概ね2週間でした。調査期間はいかがでしたか。



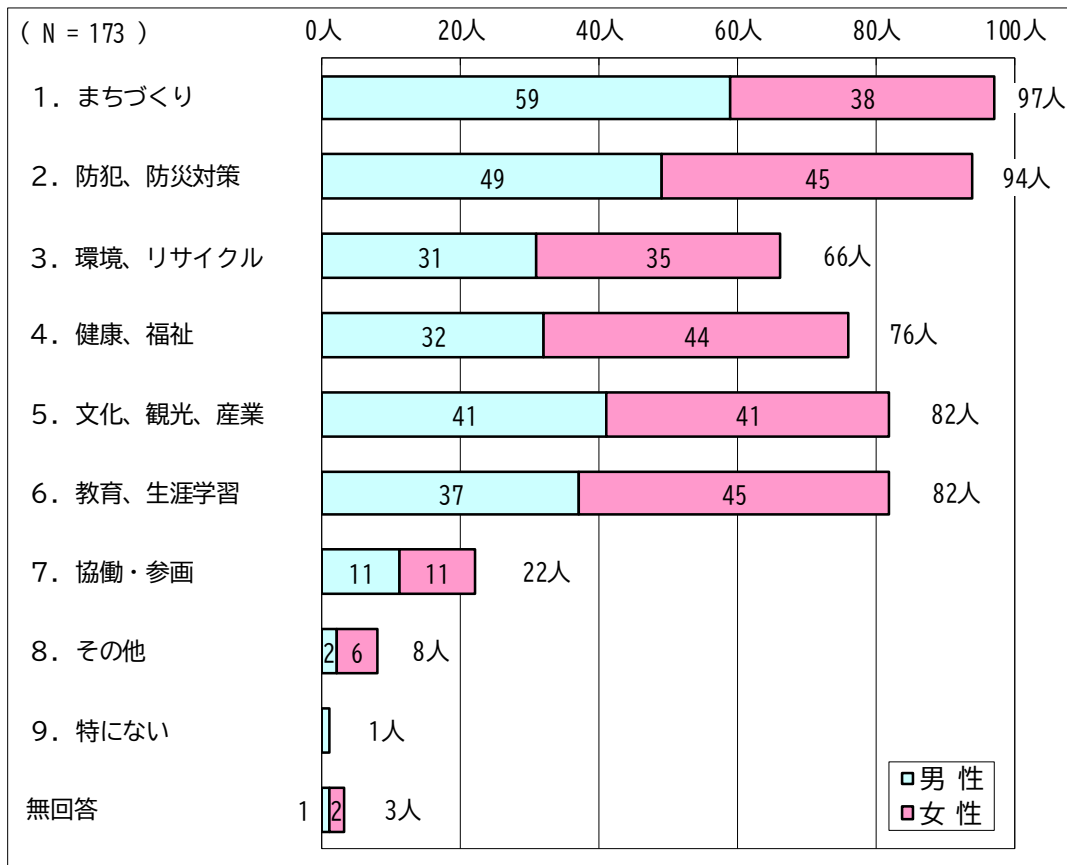
設問24：令和5年度は年5回、令和6年度は年4回のアンケートを行いました。アンケートの回数はいかがでしたか。



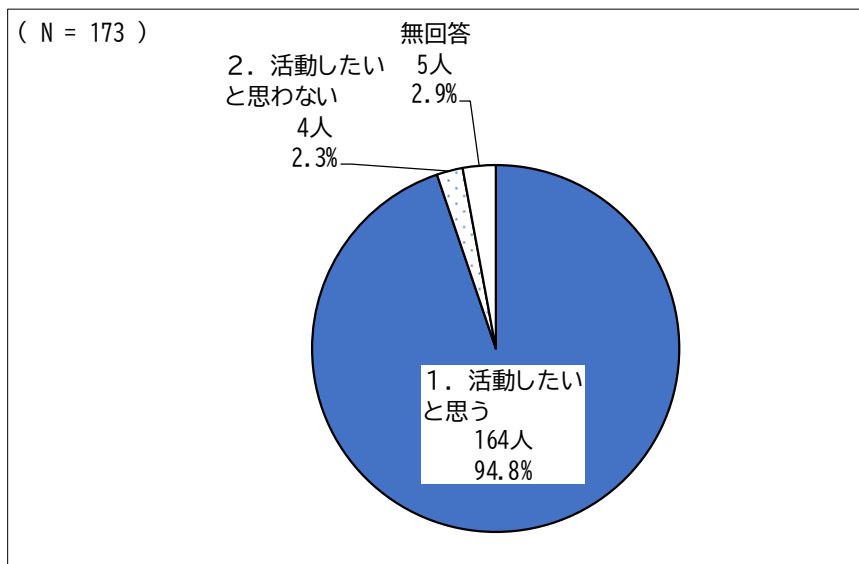
設問25：アンケート結果は報告書としてまとめ、区政サポーターの皆様へ送付する以外に区各部署や区議会議員にも送付し、区政運営の資料としています。また、中央図書館や区公式ホームページなどでも閲覧することができます。報告書の見やすさはいかがですか。



設問26：アンケートでとりあげてほしいテーマはどのようなことですか。（複数回答可）



設問27：区政サポーターとして、また活動したいと思いますか。



設問28：区政サポーターについて、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・直接意見を届けられる良い機会だった。
- ・アンケートを通して知ったこともたくさんあったので、こういう形も啓蒙活動になりそうだと思う。
- ・なかなか区のホームページも見ないし、見ても情報が多く、自分が見つけたい情報しか見ないので、新しい情報が見つけにくい。今回いろいろな取り組みをしていることを知れて良かったと思う。もっと区民がたくさん参加して意見を出し合い、理解を深める場があっても良いと思う。
- ・この取り組みは続けてほしいし、サポーター同士の情報交換会を実施しても良いと思う。
- ・様々な視点で日常生活に関心が持てたし、伝えなくてはなかなか変わらないことも痛感した。
- ・アンケート回答を通して、区のことをいかに理解していないか実感でき、良い機会になった。
- ・アンケートを通して、区の今について考えるきっかけになったが、区政に参加して具体的に何かが変わったとは感じられなかった。実際に区の決定や区政の方向が、どんな人たちによって、どのように決められているのかなどが気になった。
- ・日頃、区から受動的に捉えていた情報を、アンケートに参加することで能動的に捉えることができ、区政に対する意識が変わった。多くの区民が参加することで、同じような体験をする方が増えると思う。
- ・普通に生活していたら、あまり考えないようなことについても考える機会になって良かった。これからも台東区をより良くする活動に、何かしら関わって行けたらと思う。
- ・家族に勧められて参加したが、とても勉強になり、地域のことに興味を持つきっかけになったと思う。
- ・現状把握のための情報収集だけでなく、具体的な施策に対しての意見を募った方が有益ではないかと感じた。

- ・このように区民の声を聞いてもらえる機会があることに、参加するまで気づかなかった。自分の興味ある分野しか情報を得てなかったが、この機会で意識することができて、貴重な体験となった。
- ・今まで住んでいた地域ではサポーター制度があることを知らなかったので、実際に区民にアンケートを取るのはとても良いことだと思った。
- ・打ち込むだけなので素直な意見が出せたと思う。会議室など、人が集まった場所での意見交換とかだと、そうはいかなかったと思う。
- ・区民として様々な課題について真剣に考える機会にもなり、とても良かった。
- ・区政サポーターをやって、自分の意見をアンケートで言えるのがとても良かった。設問によって、自分が普段考えていなかった点を考えたりするきっかけになることも、良い経験であった。私もできることはやっていきたいと思う。
- ・区政が丁寧にきちんと行われることを知れて、改めて台東区の良さを感じた。
- ・区政サポーターアンケートが区政にどのような影響を与えたのか、結果をわかりやすく提示していただけたらサポーターもモチベーションが上がってアンケートも盛り上がり、より良い区政につながると思う。
- ・生まれ育った台東区なので、住み良い街になってほしい。
- ・区政に関する知識が得られて勉強になった。テーマの中にはシェアサイクル等が区内で広く利用されているなどあったが、私はまったく知らなかった。

Ⅱ アンケート質問と回答

【台東区のバリアフリーについて】

設問1： 日常生活を送るうえで、バリアフリーやユニバーサルデザインが進んだと思いますか。

1. 十分進んだと思う	7人	4.0%
2. まあまあ進んだと思う	72人	41.6%
3. あまり進んでいないと思う	66人	38.2%
4. ほとんど進んでいないと思う	7人	4.0%
5. 分からない	18人	10.4%
無回答	3人	1.7%
全体	173人	100.0%

設問2： 今後、区内のバリアフリー化を進めるうえで、どのような施設のバリアフリー化が重要だと思いますか。（3つまで複数回答可）

1. 駅や鉄道車両	132人	76.3%
2. バス車両・停留所	73人	42.2%
3. 道路	84人	48.6%
4. 官公庁施設、保健・児童福祉施設（区役所、保健所・児童館等）	26人	15.0%
5. 文化施設（美術館、博物館、ホール等）	21人	12.1%
6. 医療施設	27人	15.6%
7. 商業施設（デパートなどの大規模店舗）	19人	11.0%
8. 商業施設（商店、飲食店など）	12人	6.9%
9. 教育施設（小中学校など）	19人	11.0%
10. スポーツ施設	1人	0.6%
11. 宿泊施設	4人	2.3%
12. 金融機関	3人	1.7%
13. 駐車場	3人	1.7%
14. 公園	15人	8.7%
15. 公衆トイレ	30人	17.3%
16. その他	1人	0.6%
無回答	1人	0.6%
全体	471人	

設問3： 「心のバリアフリー」について、知っていますか。

1. 言葉も意味も知っている	67人	38.7%
2. 言葉は知っているが、意味は知らなかった	31人	17.9%
3. 言葉も意味も知らなかった	75人	43.4%
全体	173人	100.0%

設問4：「心のバリアフリー」の実現に向けて、何が求められると思いますか。（複数回答可）

1. 「心のバリアフリー」に関する広報・啓発活動	92人	53.2%
2. 高齢者、障害者との交流機会を増やす	66人	38.2%
3. 高齢者、障害者等を手助けするボランティアの養成	45人	26.0%
4. 手助けするために役立つ情報の提供（啓発用パンフレット等）	72人	41.6%
5. 学校での教育	111人	64.2%
6. その他	10人	5.8%
無回答	1人	0.6%
全体	397人	

設問5：令和6年11月1日から、新機能を加えた「バリアフリーマップ」を区公式ホームページにて公開していますが、閲覧したことはありますか。

1. 閲覧したことがある	10人	5.8%
2. 知っているが閲覧したことがない	18人	10.4%
3. 知らなかった	145人	83.8%
全体	173人	100.0%

設問6：設問5で選択肢1「閲覧したことがある」を選択した方にお伺いします。探していた情報は見つかりましたか。

1. すぐに見つかった	3人	30.0%
2. なかなか見つからなかったが、見つけることはできた	3人	30.0%
3. 見つからなかった	0人	0.0%
4. 特に目的もなく閲覧していた	3人	30.0%
無回答	1人	10.0%
全体	10人	100.0%

設問7：設問5で選択肢1「閲覧したことがある」を選択した方にお伺いします。バリアフリーマップでは、徒歩経路の検索機能をご利用いただけますが、この機能は使いやすいかったですか。

1. 使いやすい	1人	10.0%
2. どちらかといえば使いやすい	2人	20.0%
3. 使いにくい	1人	10.0%
4. 使わなかった	6人	60.0%
全体	10人	100.0%

設問8：「バリアフリーマップ」に今後必要な機能は何だと思いますか。実際にご利用いただいたうえで、ご回答ください。（複数回答可）

1. 車いす利用者や視覚障害者が円滑に移動できる、ルート検索	104人	60.1%
2. 施設のバリアフリー情報のさらなる充実	73人	42.2%
3. マップの視認性や動作性の向上	82人	47.4%
4. 音声案内機能	61人	35.3%
5. その他	11人	6.4%
6. 分からない	16人	9.2%
無回答	5人	2.9%
全体	352人	

設問9：バリアフリーについて、ご意見等がありましたらご記入ください。

【生活安全について】

設問10: 日常生活で犯罪の被害に遭うのではないかと不安を感じることはありますか。

1. 不安を感じることが多い	39人	22.5%
2. 不安を感じることもたまにある	96人	55.5%
3. 不安を感じることはほとんどない	31人	17.9%
4. 不安を感じることは全くない	6人	3.5%
無回答	1人	0.6%
全体	173人	100.0%

設問11: 設問10で選択肢1～3を選択した方にお伺いします。
どのような犯罪に不安を感じていますか。（複数回答可）

1. 闇バイトによる犯罪	87人	52.4%
2. 強盗や殺人等の凶悪な犯罪や暴行・傷害犯罪	106人	63.9%
3. 特殊詐欺（還付金詐欺等）や悪質商法	78人	47.0%
4. SNSやインターネットを利用した犯罪	85人	51.2%
5. 自宅に入る空き巣等	91人	54.8%
6. 自転車の盗難	73人	44.0%
7. 自動車やオートバイ等の盗難や、車内の物を盗む車上ねらい	32人	19.3%
8. 子供へのいたづらや連れ去り	68人	41.0%
9. 痴漢や強制わいせつなどの性的犯罪	48人	28.9%
10. DV・ストーカー行為	22人	13.3%
11. 麻薬・覚せい剤の売買、乱用等の薬物犯罪	25人	15.1%
12. すり・ひったくり	66人	39.8%
13. 不法残留	51人	30.7%
14. その他	13人	7.8%
15. 分からない	0人	0.0%
全体	845人	

設問12: 区内警察署による「メールけいしちょう」や、警視庁による「デジポリス」を知っていますか。

1. 知っており、登録している	23人	13.3%
2. 知っているが、登録していない	32人	18.5%
3. 知らない	117人	67.6%
無回答	1人	0.6%
全体	173人	100.0%

設問13: 普段から、あなたや家族が犯罪に遭わないように行っている防犯対策はありますか。
(複数回答可)

1. 防犯ブザーの携帯（スマホのアプリやデジポリスも含む）	35人	20.2%
2. 玄関のワンドア・ツーロック	97人	56.1%
3. 自宅（マンション共用部分含む）にセンサーライトや防犯カメラを設置	47人	27.2%
4. 録画機能付きインターフォンの設置	55人	31.8%
5. 民間警備会社のセキュリティシステムを活用	20人	11.6%
6. 自動通話録音機や迷惑防止機能付き電話の設置	24人	13.9%
7. 家族での合言葉	13人	7.5%
8. 犯罪や防犯情報の入手（区公式ホームページやLINE、メールけいしちょう等の活用）	33人	19.1%
9. その他	15人	8.7%
10. 特になし	30人	17.3%
全体	369人	

設問14: 町会など地域で行っている防犯活動に参加したことがありますか。

1. 積極的に参加している	12人	6.9%
2. 数回参加したことがある	29人	16.8%
3. 活動があることは知っているが、参加したことはない	43人	24.9%
4. 活動を知らず、参加したこともない	87人	50.3%
無回答	2人	1.2%
全体	173人	100.0%

設問15: 参加したい防犯活動はありますか。（複数回答可）

1. 区で行っている安全・安心リーダー講習会	28人	16.2%
2. 警察で行っている防犯講話	51人	29.5%
3. 通学路での児童の見守り活動	45人	26.0%
4. 地域住民による自主防犯パトロール	33人	19.1%
5. 防犯に関する各種キャンペーン	33人	19.1%
6. 落書き消しや有害なビラの除去、花壇の手入れなどの環境浄化活動	25人	14.5%
7. その他	3人	1.7%
8. 特になし	50人	28.9%
全体	268人	

設問16: 犯罪の起こりにくい、安全・安心なまちにするためには、地域でどのような取り組みが有効だと思いますか。（複数回答可）

1. 住民一人ひとりの防犯意識の啓発	107人	61.8%
2. 地域住民による防犯パトロール	65人	37.6%
3. 防犯カメラ・防犯灯等の設置	129人	74.6%
4. 防犯講習会への参加	26人	15.0%
5. 近所付き合いを緊密にし、地域の見守り体制を強化	85人	49.1%
6. ポイ捨てや落書き、有害ビラ等を無くす環境浄化	84人	48.6%
7. その他	16人	9.2%
全体	512人	

設問17: 犯罪の起こりにくい、安全・安心なまちにするために、区がどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答可）

1. 不審者や犯罪に関する情報の提供	110人	63.6%
2. 防犯活動を行うリーダーの養成	27人	15.6%
3. 防犯に関する講習会やキャンペーンの開催	50人	28.9%
4. 自主防犯活動へのパトロール用品の無償貸与	57人	32.9%
5. 録画機能付きインターフォンやセンサーライトなどの設置助成	102人	59.0%
6. 防犯グッズの購入助成	79人	45.7%
7. 町会、商店街等の地域団体に対する防犯カメラ等の設備助成	115人	66.5%
8. 青色回転灯付パトロールカー（「子どもの安全」巡回パトロール）によるパトロールの実施	77人	44.5%
9. 防犯活動の情報交換ができる場の提供	32人	18.5%
10. その他	13人	7.5%
全体	662人	

設問18: 子供に関する犯罪情報等をメールでお知らせする「たいとう安全・安心電子飛脚便」というサービスを知っていますか。

1. 知っており、登録している	27人	15.6%
2. 知っているが、登録していない	30人	17.3%
3. 知らない	116人	67.1%
全体	173人	100.0%

設問19: 設問18で選択肢1「知っており、登録している」を選択した方にお伺いします。「たいとう安全・安心電子飛脚便」は子供の安全確保を主体に配信していますが、今後どのような情報があれば良いと思いますか。（複数回答可）

1. 隣接する区の犯罪発生情報	10人	37.0%
2. 還付金詐欺等の特殊詐欺や強盗など刑法犯全般の発生情報	8人	29.6%
3. 検挙情報	18人	66.7%
4. このままでよい	5人	18.5%
5. その他	0人	0.0%
全体	41人	

設問20: 安全で安心な地域づくりに対する取り組みについて、ご意見等がありましたらご記入ください。

【区政サポーターについて】

設問21: 今回で現在の任期の区政サポーターアンケートは最後となります。区政サポーターとして活動して、いかがでしたか。（複数回答可）

1. 区政に参加している実感があった	107人	61.8%
2. 区政に関する知識が得られて勉強になった	139人	80.3%
3. アンケートに答えるだけでは物足りなかった	20人	11.6%
4. アンケートに答えるのが大変だった	5人	2.9%
5. テーマが難しかった	6人	3.5%
6. その他	11人	6.4%
7. 特にない	1人	0.6%
無回答	2人	1.2%
全体	291人	

設問22: アンケートの設問は、1回あたり概ね20～30問でした。設問数はいかがでしたか。

1. もっと多くてもよい	16人	9.2%
2. ちょうどよい	138人	79.8%
3. もっと少ないほうがよい	15人	8.7%
無回答	4人	2.3%
全体	173人	100.0%

設問23: アンケートの調査期間は、1回あたり概ね2週間でした。調査期間はいかがでしたか。

1. もっと長いほうがよい	6人	3.5%
2. ちょうどよい	155人	89.6%
3. もっと短くてもよい	8人	4.6%
無回答	4人	2.3%
全体	173人	100.0%

設問24: 令和5年度は年5回、令和6年度は年4回のアンケートを行いました。アンケートの回数はいかがでしたか。

1. もっと多くてもよい	54人	31.2%
2. ちょうどよい	114人	65.9%
3. もっと少ないほうがよい	1人	0.6%
無回答	4人	2.3%
全体	173人	100.0%

設問25: アンケート結果は報告書としてまとめ、区政サポーターの皆様へ送付する以外に区各部署や区議会議員にも送付し、区政運営の資料としています。また、中央図書館や区公式ホームページなどでも閲覧することができます。報告書の見やすさはいかがですか。

1. 見やすい	32人	18.5%
2. 普通	126人	72.8%
3. 見にくい	12人	6.9%
無回答	3人	1.7%
全体	173人	100.0%

設問26: アンケートでとりあげてほしいテーマはどのようなことですか。(複数回答可)

1. まちづくり	97人	56.1%
2. 防犯、防災対策	94人	54.3%
3. 環境、リサイクル	66人	38.2%
4. 健康、福祉	76人	43.9%
5. 文化、観光、産業	82人	47.4%
6. 教育、生涯学習	82人	47.4%
7. 協働・参画	22人	12.7%
8. その他	8人	4.6%
9. 特にない	1人	0.6%
無回答	3人	1.7%
全体	531人	

設問27: 区政サポーターとして、また活動したいと思いますか。

1. 活動したいと思う	164人	94.8%
2. 活動したいと思わない	4人	2.3%
無回答	5人	2.9%
全体	173人	100.0%

設問28: 区政サポーターについて、ご意見等がありましたらご記入ください。

令和6年度 第4回
台東区区政サポーターアンケート調査報告書

編集・発行 令和7年2月
台東区総務部広報課
令和6年度登録第69号